

令和4年度シラバス（商業）

56 新潟県立八海高等学校

教科（科目）	商業（電子商取引）	単位数	4	学年（コース）	第3学年（ビジネスコース）
使用教科書	実教出版『電子商取引 新訂版』				
副教材等	実教出版「全商情報処理検定模擬試験問題集ビジネス情報1級」 実教出版「全商ビジネス文書実務検定模擬試験問題集1級」				

1 学習目標

情報通信ネットワークを活用した商取引や広告・広報に関する知識と技術を習得させ、情報通信ネットワークを活用することの意義や課題について理解させるとともに、情報通信技術を電子商取引に応用する能力と態度を育てる。

2 指導の重点

- ① 実習課題に多く取り組み、情報通信ネットワークを活用した商取引や広告・広報に各種ソフトウェアを活用するための基礎的な知識と技術を習得させる。
- ② ビジネスの諸活動において情報通信ネットワークを活用することの意義や、情報の信頼性の確保や知的財産の保護などの課題について理解させるとともに、情報通信技術を電子商取引に応用する能力と態度を育てる。

3 学習計画

月	単元名	学習活動（指導内容）と方法	時間	評価方法
4	第1章 情報通信技術の進歩とビジネス	1. ビジネスの変化 2. 情報通信ネットワークの活用と課題	6	課題提出
5 6	第2章 コンテンツの制作	1. ファイルの形式 2. 図形 3. 静止画 4. 動画 5. 音声 6. 情報の統合	27	課題提出 中間考査
7 9	第3章 ウェブデザインと広告・広報	1. ウェブページ制作までの手順 2. ウェブデザイン設計 3. ウェブページ制作の基礎 4. ウェブページ制作の応用	39	課題提出 期末考査
10	第4章 ウェブページの公開	1. ネットワーク機器の種類と機能 2. 公開の方法	9	課題提出 中間考査
11 12 1	第5章 電子商取引とビジネス	1. 電子商取引のしくみ 2. 企業間取引と企業対消費者間取引 3. 電子決済のしくみと方法 4. 電子商取引システムの作成	47	期末考査 学年末考査・課題提出

計128時間(55分授業)

4 課題・提出物

- ・各単元ごとと学期ごとに課題提出を課し、成績および評価の資料とします。
- ・各種検定の受検をします。

5 評価規準と評価方法

評価は次の観点から行います。

関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
ビジネスにおける電子商取引の必要性に気づき、商取引に情報通信技術を活用しようとする意欲を持って、電子商取引システムの構築に必要な知識や技能を積極的に学ぼうとしている。	電子商取引システムを構築するために、目的に応じた機器やソフトウェアを選択して利用したり、顧客の立場に立ったデザインに加工する工夫を行うとともに、分かりやすい情報発信ができる。知的財産権を意識したウェブデザイン設計を行うことができる。	図形や静止画、動画、音声などのマルチメディアを利用した情報発信に必要な機器やソフトウェアの利用および、ウェブページの作成技法を身につけるとともに、これらを活用して電子商取引システムを作成できる。	ビジネスにおける電子商取引の意義や役割を理解するとともに、ウェブページを用いて情報を効果的に伝えるための基礎知識や分析、企画・立案、制作、公開の手法を身につけている。

以上の観点をふまえ、
 ・学習に対する意欲や態度、思考力や表現力など
 ・検定に向けての取り組みや出欠状況など
 ・定期考査や課題提出、および締め切りの厳守などを総合的に評価する。

6 担当者からの一言

受験予定の検定試験は以下のとおりです。
 全国商業高等学校協会主催 ビジネス文書実務検定試験1級（7月、11月）
 情報処理検定ビジネス情報部門1級（9月、1月）